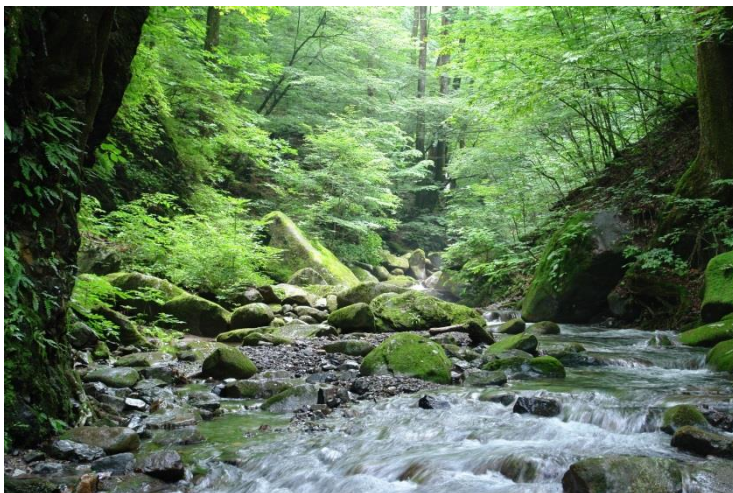


28 東京水道水源林



1 森林の状況

面積: 25,444ha

標高: 350～2100m

森林の種類: 人工林30%天然林70%

主な樹種: スギ・ヒノキ・カラマツ・ブナ・ミズナラ・シオシ・ツガ等

林齢: 1～300年

制限林等の指定:

水源かん養保安林 明治31年

土砂流出防備保安林 明治31年

保健保安林 昭和52年

秩父多摩甲斐国立公園 昭和25年

鳥獣保護区(特別保護地区) 昭和59年

2. 水源の状況

種類: 貯水(小河内貯水池)

利用状況(都営水道全体): 水道7,975,294戸13,719,375人

水源の流量: 910,000m³/日(令和5年度平均)(羽村取水堰地点)

3. 地域の概況

多摩川の上流域に広がる東京水道水源林(以下、「水道水源林」という。)は、良好な森林を保護・育成することにより、安定した河川流量の確保及び東京都の重要な水がめである小河内貯水池(奥多摩湖)の保全を目的としています。その範囲は、東京都の西部、奥多摩から山梨県にまたがり、東西約31km、南北約20kmに及んでいます。

水道水源林は、現在から120年以上前の明治34年(1901)、多摩川上流域の森林の荒廃を憂(うれ)いた東京府が、御料林を譲り受けて管理を開始しました。以来、良好な森林を守り育てるため、森林保全事業、治山事業、林道事業等を実施しています。

また、水道水源林では、森林内の散策や動植物の観察等をとおして、森林のはたらきや自然環境の大切さを理解していただけるよう、「水源地ふれあいのみち」を整備しています。水源地ふれあいのみちには、多摩川源流を訪ねる「水干ゾーン」、ブナやミズナラが美しい「柳沢峠ゾーン」、奥多摩湖の眺望を満喫できる「小河内ゾーン」の3コースがあり、水道水源林の役割や大切さを肌で感じることができます。

所在地: 東京都西多摩郡奥多摩町 山梨県甲州市・北都留郡丹波山村及び小菅村

4. アクセス

鉄道: JR青梅線「奥多摩駅」下車またはJR中央線「塩山駅」下車

問い合わせ先: 東京都水道局水源管理事務所 Tel 0428-21-3897